HOLOSUN®

HOLOSUN®

HS515G-M

PARALOW
Circle Dot Sight

取扱説明書

Multi Reticle

COLOR	
○	Dessert Sand
●	Matte Black

Holosun Technologies Inc.

Phone: (909) 594-2888

Fax: (909) 598-4888

E-mail: info@holosun.com

www.holosun.com

PARALOW HS515G-M

PARALOW HS515G-M: ドットのみ/サークルレチクルパターン有りを選択可能な新しい小型サークルドットサイトです。新LED技術を採用しており、CR2032のバッテリー寿命は最大50,000時間です。フリップアップレンズカバーとキルフラッシュを付属しています。サイトは、ショットガン、ピストル、ライフル、空気銃、クロスボウなどの様々な銃器に取り付け可能です。

重要事項

1.装置の取り付け、照準合わせ、新しいバッテリーの取り付けを行う前に、銃器が完全に未装填で、安全であることを確認してください。
2.保証請求をする必要がある場合は、パッケージを保管しておいてください。

HS515G-M
Circle Dot sight

Customer Service

Phone: (909) 594-2888
Fax: (909) 598-4888
E-mail: info@holosun.com

保証

弊社は部品・製造作業品質から購入者に渡るまで、製品の購入日から生涯保証を提供します。弊社の裁量により、通常の使用方法で欠陥が見つかった製品を、購入者負担の送料を除き、無償で修理または交換いたします。

弊社は、本製品の使用または性能から生じる、付随的、必然的、または特別な損害について、一切責任を負いません。製品が誤使用、改造、放置、または分解された場合、保証は無効になります。最新の完全な保証情報およびその他の条件については、http://holosun.com/documentationを参照してください。

HS515G-Mサークルドットサイトをご購入頂きありがとうございます。本製品はモノキュラーサークルドットサイトです。取扱説明書をよくお読みください。

モデル

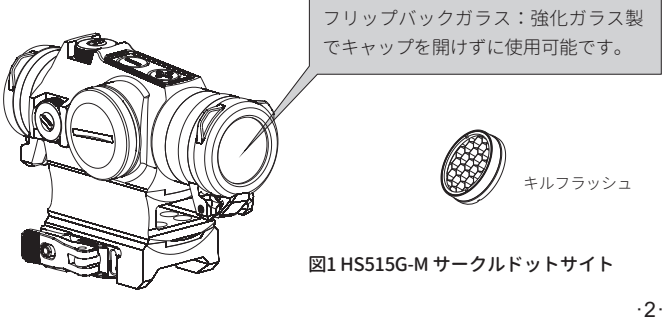


図1 HS515G-M サークルドットサイト

対物レンズ

レットドットサイトは、前面に対物レンズがあり、サイトを覗くと軸が外れて傾いているように見えますが、前面レンズをこの角度にすることで、内部LEDプロジェクターで生成した光を後部レンズで反射させています。この反射光がレッドドットを電源オンにした際に見える「ドット」や照準になります。

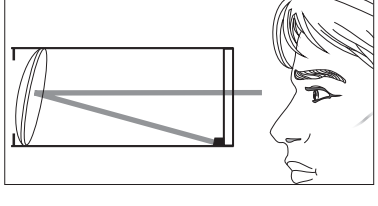


図2

メンテナンスとケア

この装置は、相応の注意を要する精密機器です。下記は、サイトの長期間の使用を保証するために提供されています。

光学レンズは、マルチコーティングされた光学ガラスです。レンズを掃除する際は、表面のほこりを吹き飛ばし、レンズクリーナーや清浄水でレンズを濡らし、汚れをレンズ用ティッシュ、ソフトコットン、マイクロファイバータオルで拭き取ってください。

乾いた布やティシュペーパーでガラス表面に触れないようにしてください。アルコールやアセトンなどの有機溶剤は使用しないでください。ハウジングには特別なメンテナンスは必要ありません。内部部品は特殊清掃、密閉、防曇処理が施されているため、装置を分解しないでください。製品保証が無効になります。

5.**注意：**

つまみを回しすぎないようにしてください。つまみを回すことができないと感じる場合は、調整限界に達したことを示しています。回しすぎると損傷する恐れがあります。

必要な調整範囲が調整限界を超えている場合は、取り付けレールを調整することをご検討ください。

特徴

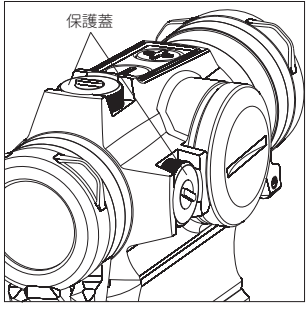
1)バッテリー寿命は最大50,000時間
2)2種類のレチクル：65MOAサークル有り2MOA ドット、または2MOA ドットのみ
3)Shake Awake™ -動作に反応し最後に設定した状態で電源オン
4)視差効果が無く、無制限のアイレリーフ
5)日中10段階、夜間2段階に対応したレチクル明るさ設定
6)キルフラッシュを備えたクリアガラスフリップバックレンズキャップ
7)ハードアルマイト仕上げのCNC製7075アルミニウムハウジング
8) 1.63"（co-witness 1/3以下）の取り外し可能なQDハイマウント
9)埋め込み保護された調節ねじ
10)クイックリリースマウント
11) IPx8認定

マルチレチクル

サイトのレチクルは、2MOAドットであり、4つのポジショニング点を備えた65MOAサークル内にあります。サークルレチクルの直径は、100ヤード（100mで170cm）で約5 '5 "を表します。

マニュアルモード時「ー」ボタンを３秒間押すことで、必要に応じてサークルレチクルをオン/オフにすることができます。65　MOAサークルがオフでサイトをオートモードに切り替えている時は、明るい場所では自動的に65 MOAサークルがオンに戻ります。

風損ターレットを反時計回りに調整して、弾着点を右に移動します。いずれかのターレットを時計回りに回すことで、弾着点を反対方向に移動します。



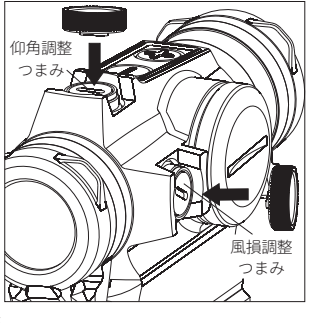


図6

ゼロ設定

1．サイトの上に仰角調整ターレットがあり、風損調整ターレットは右側にあります（図6参照）。サイトは工場出荷時に、ほぼゼロに調整されています。

2.保護キャップ上のねじ回しツールはゼロ調整に使用できます（図6参照）。キャップ内側のラベルを参照してください。

3.保護キャップ（図6参照）を開け、スロット付きねじ回しをスロット付きねじに合わせ、

ねじを回します。1クリックは0.5MOA値に相当します。

4.仰角ターレットを反時計回りに調節して、弾着点を上に移動します。

バッテリー

1. 動作電圧は、購入時に同梱されている高品質CR2032リチウム電池使用のDC3Vです。（同梱されていないので注意）

2. 高品質リチウム電池はサークルドット最大20,000時間、ドットのみの場合は最大50,000時間動作します。

注意：同梱リチウム電池は充電式ではありません。（同梱されていないので注意）

3. バッテリの取り付けおよび交換については、図3を参照してください。

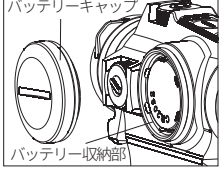
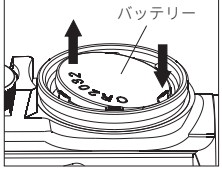


図3-1



バッテリー交換（図3-1）：

1）バッテリーキャップを反時計回りに回し、キャップを取り外します。

2）バッテリーの側面を押して、バッテリーを取り出します。

3）新しいバッテリーを取り付け、バッテリーキャップを時計回りに回して締めます。

バッテリー取り付け（図3-2）：

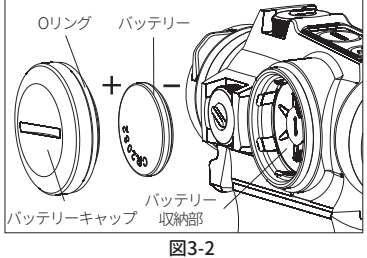


図3-2

1）左に回してバッテリーキャップを開きます。

2）図3-2のように、バッテリーを正しい極性　「＋」「－」を確認し、バッテリー収納部に挿入します。交換の際は不要なバッテリーを取り出してください。

3）回してキャップを閉じます。

ii.＋/－ボタンを押して時間を設定すると LEDが点滅します（1回=10分、2回=1時間、3回=12時間、4回=スリープモード無効）。

iii.＋/－ボタンを同時に押すと時間設定を保存し、サイトを電源オフにします。

5.サークルレチクルのオン/オフ

バッテリー電圧が低い等の場合は、－ボタンを3秒間押すことで、必要に応じてサークルレチクルをオン/オフにすることができます。

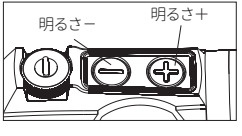


図5

6.**注：**

1)メモリー機能：パワーオン/オフ時の最後に保存された明るさ設定をサイトは記憶しています。

2)低バッテリー警告：バッテリー電圧が2.2Vdc以下になると、レチクルがゆっくりと点滅します。

明るさ設定には12段階あります。デフォルトの明るさはレベル7に設定されています。レッドドットの目標に対するコントラストが十分な強度になるまで＋/－ボタンを押してください。1回短く押して離すごとに明るさが調節できます。

4.スリープ時間モード：

1)10分間動作がない場合、レットドットは自動的にスリープモードに入ります。

2）サイトは、任意のモーションを検知することで、最後に保存された設定で、一瞬で電源オンになります。

3)デフォルトのスリープ時間は10分に設定されていますが、調整可能です。

i.＋ボタンを10秒間押し続けて時間調整モードにします。10分、1時間、12時間、スリープモード無効の4種類があります

注意：

シールリングの紛失や破損により、コンパートメントへ水漏れし、装置に損傷を与える恐れがあります。

銃器へ取り付け

1.取り付けブラケットは、ピカティニーレールやウィーバーレール搭載の銃器に適応可能です。ピカティニーレールがない銃器の場合は、資格のある鉄砲工へ連絡してください。

2.Holosun特許取得のクランプ構造では、レールに取り付ける際に工具は必要ありません。ロックボタンを押し、ハンドルを持ち上げてロックバーを緩めます。サイトをレールに取り付けるために、ハンドルを押し下げると、ロックボタンが自動的にかみ合います。このようにして取り付けが完了します（図4-1参照）

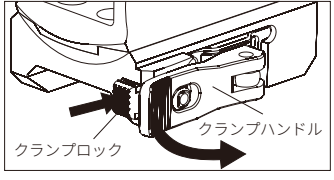


図4-1

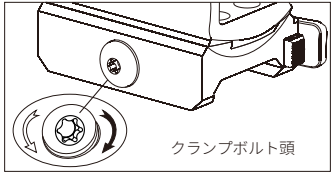


図4-2

3. **最初の取り付け**

初めてサイトを取り付けた際に、クランプを締め付けすぎてハンドルがロックできなくなることがありますので、クランプボルトは適切な締め付け具合に調整してください。

1)マウント側のクランプ調整ボルトの端にトルクスソケットが1つあります（図4-2参照）。取り付け前に、付属のトルクスレンチでボルトを緩めてクランプを外します。

2)クランプハンドルを開き、サイトをレールにスライドさせ、クランプハンドルを閉じ、まだ緩めておきます。

3)トルクスレンチでクランプ調整ボルトを締めます。これによりクランプがレールに締め付けられるので中程度に締めます。クランプハンドルを開閉してみて、締め付けすぎず、緩すぎないようにクランプボルトを調整してください。

サイト

1.電源オン（図5参照）：明るさボタン（+/−）を押し、サイトを電源オンにします。

2.電源オフ： +/−ボタンを同時に押すと電源とモーションセンサーがオフになります。

3.明るさ調整：